



バス非常口脱出体験



◎ 見たことあるけど、意外と知らないバスの非常口

バスに乗車しているときに災害に巻き込まれるかもしれません。そんなとき覚えておきたいのが、いざというときの「逃げ道」です。

そこで今回はバスの非常口について確認していきましょう。バスには車体の右後方に非常口があることは、ご存知の方も多いと思います。しかし実際に開けたことがある人は少ないのではないのでしょうか？どんな手順でドアが開くのか確認しましょう！

脱出方法とは！

- ① まずは赤いカバーを手前に引いて外してください。

- ② 次にこのレバーを横に倒すと扉が開きます。ですが！椅子が邪魔だとおもいませんか？年配の方等は、この椅子を乗り越えることができるでしょうか？ここでもうひと手間を加えてほしいのです。座席の背もたれについているグリップを掴み、バスの横方向に力いっぱい引っ張ってください。すると・・・



運転席横の非常コック



脱出成功(*^-^*)

車内の右側後方の非常口

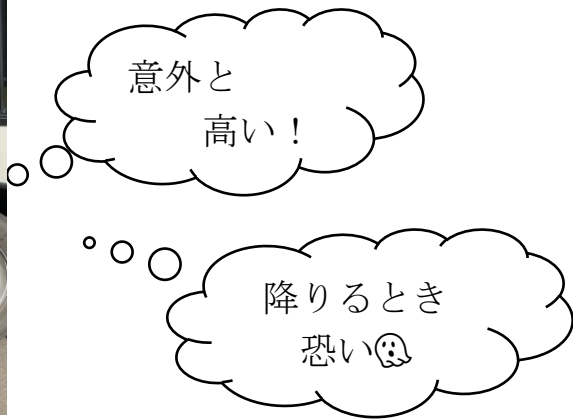
逃げ道が広がります。

非常口の大きさとは？(車種によってちがいます)

非常口ドアの高さ 175cm

非常口から地面までの高さ 90cm

非常口ドアの幅 65cm



これで解決！

(株)平成エンタープライズ加須営業所所長 岡藤様より

P T A、学校の皆様、バスの非常口体験にご参加下さりありがとうございました。今回、バスの非常口を見て、触って体験していただきましたが、いっどこで災害や事故などに遭遇するか分かりませんので、日頃の訓練は大切だと思います。

Q&A (バス会社の方にお聞きしました)

質問① 子供が緊急時のベルの音を聞くとパニックになりそうなので、音を止めることはできますか？

「運転席にベルを止める装置があります。」

質問② シートの背もたれは普段でも動くのでしょうか？

「非常口が開かないと背もたれは動かないようになっています。」

質問③ 非常口はなぜ、右側なの？

「左側に壁など脱出を妨げるものが、あったときのことを想定し、右側に設置するようになっています。」

防災部山口先生より

- ・非常扉の高さがあるので、非常時には大人が外に先に出るなどの対応が必要と感じました。
- ・実際の災害時は予想もつかないことが多いので防災部だけでなく SB 部やその他の部所で各マニュアルを作成しつつ柔軟に運営できるように研修などつむ必要があると感じました。

編集後記

現実に避難することがあった場合、高さも心配だし、非常ベルの音をすぐに止めてもらえるのかが、気がかりでした。私も、あの音で気持ちが焦ってしまい、落ち着いていられないように思いました。